**日本技術者教育認定機構**

〒108-0014　東京都港区芝　5-26-20

(建築会館4F)

電話　03-5439-5031

FAX　03-5439-5033

E-mail　accreditation@jabee.org

自 己 点 検 書

（３．添付資料編）

対応基準：日本技術者教育認定基準（2019年度～）

適用年度：2025年度

高等教育機関名

プログラム名

（希望認定種別名）

（希望認定分野名）

Program Title

審査分類：新規審査／認定継続審査／中間審査

注意： 中間審査の場合、「自己点検結果」は中間審査項目についてのみ記載する

提出日　2025年　月　日

過去６年間の審査における審査結果

過去6年間に受けた審査で、認定の可否通知とともに送付された「審査結果」の表紙を含めた写しを添付する。前回の審査が中間審査の場合には、その前の新規審査または認定継続審査と前回の中間審査の両方の結果を添付する。今回が新規審査の場合には、添付する必要はない。

表１　学習・教育到達目標と知識・能力観点(a)～(i)との対応

学習・教育到達目標の各項目 〔(A)、(B)、(C) - - - 〕 が基準項目1.2の知識・能力観点 〔(a)～(i)〕 を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 知識・能力　　　　観点  学習・教育  到達目標 | (a) | (b) | (c) | (d) | (e) | (f) | (g) | (h) | (i) |
| (A) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (B) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (C) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (D) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (E) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ |

：当該プログラムの学習・教育到達目標を記述する。

表２　学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習・教育到達目標の大項目 | 学習・教育到達目標の小項目(注) | 関連する知識・能力観点(a)～(i)の項目 | 関連する知識・能力観点(a)～(i)との対応 | 評価方法および評価基準 |
| (A) | (A-1) | (a) | ◎ | 評価方法(A-1)・・・・・・・・で評価する。 |
| (A-2) | (a) | ○ | 評価方法(A-2)・・・・・・・・で評価する。 |
| (B) |  | (a)  (b) | ◎  ○ | 評価方法(B)・・・・・・・・・で評価する。 |
| ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ | ・  ・  ・  ・ |

注：「学習・教育到達目標の小項目」の欄は、小項目がある場合は記入し、小項目がない場合は空欄とする。

上記の表2を作成するためのテンプレート用共通Excelファイルを用意しているので、この共通Excelファイルを利用して作成した表を収録することを推奨する。

表３　学習・教育到達目標に対するカリキュラム設計方針の説明

|  |  |
| --- | --- |
| 学習・教育到達目標 | カリキュラム設計方針 |
| (A)  ○○○○ |  |
| (B)  ○○○○ |  |
| (C)  ○○○○ |  |
| (D)  ○○○○ |  |
| (E)  ○○○○ |  |

表４　学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習・教育  到達目標 | 授　　業　　科　　目　　名 | | | | | | | |
| 1　年 | | 2　年 | | 3　年 | | 4　年 | |
| 前 期 | 後 期 | 前 期 | 後 期 | 前 期 | 後 期 | 前 期 | 後 期 |
| （A） | 授業科目Ａ  授業科目Ｂ  授業科目Ｃ | 授業科目Ｄ  授業科目Ｅ（○） | 授業科目Ｆ（◎） | 授業科目Ｇ（○） |  | 授業科目Ｈ（◎） |  | 授業科目Ｉ（◎） |
| （B） |  |  |  | 授業科目Ｊ |  | 授業科目H（○）  授業科目K（◎） | 授業科目L（◎）  授業科目M |  |
| （C） | 授業科目A | 授業科目D  授業科目N | 授業科目O（◎）  授業科目P（◎）  授業科目Q | 授業科目R（◎）  授業科目S（◎）  授業科目G | 授業科目T  授業科目U | 授業科目V（◎） |  | 授業科目Ｗ（◎） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　修士課程プログラムの場合は1年および2年のみ記載する。

※　学士課程と修士課程を合わせた6年間のプログラムの場合は5年および6年（修士課程）の内容を追加した表を作成する。

※　修士論文研究等については、主要プロセス（調査計画、制作/実験、中間報告、報告書作成、報告書審査など）を記入し、関連する授業科目

　　との関連を矢印等で示す。

※　対応する学習・教育到達目標の達成に重要な位置づけにあるものに○印を、特に重要な位置づけにあるものには◎印を付す。

※　上図と同様の内容の情報を別の形式でまとめている場合は、それを表４として添付しても構わない。

表５　自己点検書添付資料の一覧表

（下記の番号T01、T02、T03に対する資料名は例示）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整理番号 | 添付資料名 | 該当箇所の  通しページ番号 |
| T01 | 学科案内の「育成すべき技術者像」関連部分抜粋 | P.xxx～P.xxx |
| T02 | 教育改善年次報告書（過去５年分）抜粋 | P.yyy～P.yyy |
| T03 |  |  |
| - - - - - - - - - - - - | - - - - - - - - - - - - |  |

表６　実地審査閲覧資料の一覧表

（整理番号J01、J02、J03などに対する資料名は単なる例示）

- - - - - - - - - - - -

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 整理  番号 | 遠隔調査 | 訪問調査 | 実地審査閲覧資料名 |
| J01 | ○ |  | 学士論文 |
| J02 |  | ○ | 数学の成績関連資料 |
| J03 | ○ | ○ | 物理基礎の成績関連資料 |
|  |  |  | - - - - - - - - - - - - |

※遠隔調査や訪問調査の欄には、希望する調査方法の欄に○印を記入する。遠隔調査と訪問調査のどちらでもかまわない場合には、両方の欄に○印を記入する。

添付資料

資料には表５に記載した整理番号と添付資料名を明記し、以下に表５に記載した順に添付する。